

# 杉並区(東京都)の一体的実施

平成24年12月3日事業開始

杉並区立産業商工会館内に「杉並区就労支援センター」を開設し、区とハローワークによる若者等に対する一体的就労支援等を効果的・効率的に実施

区

若者等就労準備支援事業等

## ① 事業内容

- ・ハローワーク職業相談員によるきめ細かな職業相談・職業紹介の実施
- ・若者を中心とした就労準備相談、心理相談等の実施
- ・若者を中心とした就職面接会等の開催

## ② 協定・事業計画

- ・杉並区長と東京労働局長及び新宿公共職業安定所長の間で協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を杉並区、東京労働局及び新宿公共職業安定所の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

## ③ 運営協議会

- ・杉並区職員、東京労働局職員、ハローワーク新宿職員をメンバーとする運営協議会を設置(杉並区長が会長)



国

職業紹介・職業相談の実施等

杉並区立産業商工会館内に「杉並区就労支援センター」を設置し、区とハローワークが連携して若者等に対する就労準備相談から職業相談・職業紹介までの一体的支援等及び区内事業者に対する雇用支援等を実現。

## (1) 実施体制

### 区

- ・統括責任者 1名(巡回)
- ・職員 1名(巡回)
- ・若者就労支援コーナー統括責任者 1名
- ・受付員 2名以上
- ・専門相談員 2名以上
- ・心理相談員 1名(月2回)

### 国

- ・総括責任者(職員) 1名(巡回)
- ・職業相談員等 4名  
を配置
- ・求人情報提供端末7台、職業紹介端末4台を設置

## (2) 事業目標と取組状況(25年度)

	25年度事業目標	取組状況(平成26年3月末時点)
就労支援事業	◇ 平成25年度に延べ4,700人以上の職業相談を実施し、180件以上の就職	◇ 平成25年度に延べ6,997人の職業相談を実施し、453件の就職を達成
	(参考)24年度目標 ◇ 平成24年度に延べ1,600人以上の職業相談を行い、800件以上の職業紹介を実施	◇ 平成24年度に延べ1,990人の職業相談を行い、1,957件の職業紹介を実施
若者等就労準備支援事業	◇ 平成25年度に延べ1,000人以上の就労準備相談・心理相談を実施し、50件以上の就職	◇ 平成25年度に延べ1,804人の就労準備相談・心理相談を実施し、153件の就職を達成
	(参考)24年度目標 ◇ 平成24年度に延べ300人以上の就労準備相談・心理相談を実施	◇ 平成24年度に延べ574人の就労準備相談・心理相談を実施
雇用支援事業	◇ 平成25年度に延べ30社以上の就職面接会を実施	◇ 平成25年度に延べ49社の就職面接会を実施
	(参考)24年度目標 ◇ 平成24年度に延べ10社以上の就職面接会を実施	◇ 平成24年度に延べ16社の就職面接会を実施

## 「杉並区就労支援センター」の開設について



就労意欲があるにもかかわらず、就労に結びついていない若者などの就労を支援するため、杉並区とハローワーク新宿が連携し、平成24年12月3日、区就労支援の中核となる「杉並区就労支援センター」を杉並区立産業商工会館内に開設いたしました。

就労支援センターには、平成25年4月～平成26年3月には延べ16,389人の方が足を運ばれ、延べ1,804人の方が就労準備相談を利用されました。国が運営するハローワークと、区就労支援窓口が同じフロアに設置されたことで、就労準備相談と職業相談・職業紹介のサービスを1カ所で受けることが可能となり、ワンストップ型の就労支援が実現しています。

今後は、全国ネットワークを持つハローワーク新宿のノウハウを活かしながら区内企業等と区がパートナー関係を構築し、区内産業の魅力を区内外に発信する活動の充実を図るとともに、求人開拓や、一般就労に直ちに結びつかない人のために中間的就労の場を確保するなど、就労意欲のある人材と区内企業を結びつけるための取組を進めていきます。

開設したばかりではございますが、若者が夢や希望を見出し、その実現に向かって生き生きと活躍できるよう全力で取り組んでいきます。

杉並区長 田中 良

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：32歳 希望職種：未定 直近の雇用形態：非正規労働者

## ① 抱える課題

- ・自分なりに就職活動を行ってきたが、職業知識が不足していることからやりたいことが見つからない。
- ・自分に対して自信がなく、コミュニケーション能力にも不安がある。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・杉並区の就労準備窓口を利用しながら、ハローワークでは仕事に対するイメージを具体化できるよう、職員から求人情報を提案することなどにより、職業理解を促進。
- ・自信が持てないながらも「何かを始めよう」という気持ちが芽生えてきたことから、希望職種を明確化するなど、こういった方向性で就職を目指すかということを中心に職業相談を実施。
- ・本人の中に自信が生まれてきたこと、やりたい仕事が見え始めたことなどから、自ら選んだ求人や職員が提案した求人へ応募。
- ・面接時の対応や応募書類へのアドバイスの実施、就職支援セミナーへの参加を勧奨。



## ③ 結果

- ・スーパーマーケットの青果担当スタッフとして、パート採用

※支援期間8カ月